

公益活動
クローズアップ
2015

鹿屋肝属法人会
青年部会



「税を勉強してみよう！」串良商業での勉強会の様子

高校生に損益計算書の作成・税金計算まで指導 一緒に楽しく学ぼう税 in 鹿屋秋祭り

鹿屋肝属法人会青年部会は、設立30周年記念事業として、来場者数が2万人を超える鹿屋市秋祭り歩行者天国を「税に関するイベント」にしようと考え、以下の5つの目標を掲げました。

- ①歩行者天国のメイン会場を私共青年部会に任せて頂くこと。
- ②税金が使われている警察や消防にも参加していただくこと。
- ③小学生が楽しく税を学べるイベントにすること。
- ④高校生に租税教育を盛り込んだ出店をしてもらうこと。
- ⑤親会、女性部会と協力し、法人会全体で成功させること。

歩行者天国を「税1色にしたい…」。どうしたら税金について楽しむながら学ぶことが出来るか。「見せろ！法青のワカツ」を合言葉に会員一丸となった結果、「一緒に楽しく学ぼう税 in 鹿屋秋祭り」と銘打ち、子供から大人まで楽しみながら「税」に触れ、学ぶイベントを開催しました。

まず、子供達が集まって楽しむ定番。そう！皆さんご存知、薩摩劍士隼人です。「税金が無くなったらどうなるの？」オリジナルショーを開催。小さな子供でも分かりやすく税金の大切さを学べる内容で、多くの子供たちが目を輝かせながら楽しんでいました。

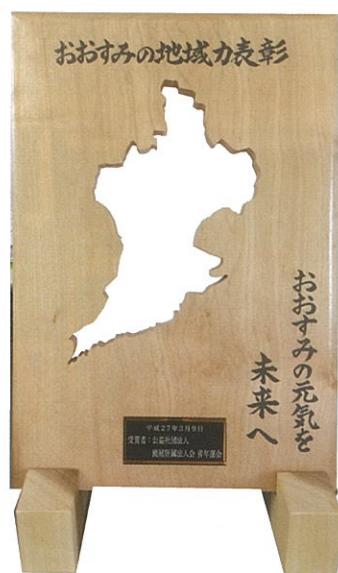
さらに、宝探し感覚で楽しめるスタンプラリー方式の税金クイズ「宝探した税」を開催。税金に関するクイズが隠された関所を設置し、そこに「地域の歴史」を盛り込みました。市役所からお借りした70年前の地図から会場周辺を抜粋して宝の地図を作り、問題が隠された関所を歴史に関する場所としました。例えば、鹿屋から飛び立った特攻隊員が最後の夜に、ご馳走を食べさせてもらったという食堂



があつた「戦跡の関所」といった感じです。800枚準備した地図が、2時間も経つ頃には全て無くなるという盛況ぶりでした。

この他にも税に関する冊子や風船配布、女性部会主幹の小学生の税に関する絵はがきコンクールの表彰式、警察による防犯講和や消防団による操法披露など「税1色のイベント」となりました。また、このイベントに出店してもらった鹿屋中央高校と串良商業高校に対して、今までにない新しい取組みも行いました。後日、各高校を訪問して、実際の売上げ数字を利用して年間売上げを算出し、損益計算書を作成、所得税、個人事業税、住民税まであらゆる税金を実際に計算してみるというものです。会員自らが講師となるため、レジュメ作成から講義の進め方まで、連日連夜「ああでもない、こうでもない。」と打合せを重ねました。実はこの「教えるために自分達が学ぶ」ということが、息の長い租税教育事業を行う上で、とても重要なことであると会員一同再認識しました。

最後に、鹿屋肝属法人会青年部会は、この活動の功績が認められ、鹿児島県より「おおすみの地域力表彰」を頂き設立30周年に華を添えることが出来ました。



鹿児島県大隅地域振興局より
「おおすみの地域力表彰」を頂きました。